

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第52週、令和7年第1週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (1週間に新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：報告なし。
 3類感染症：報告なし。4類感染症：E型肝炎1例、つつが虫病3例。
 5類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、梅毒1例、百日咳5例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
4類	E型肝炎	都城	60歳代	女	—	発熱、全身倦怠感、肝機能異常、右上腹部痛
		宮崎市	70歳代	男	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
	つつが虫病	都城	70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
		都城	70歳代	男	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
5類	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	宮崎市	90歳代	女	—	ショック、DIC、軟部組織炎
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	無症状病原体保有者	なし
	百日咳	宮崎市	10歳代	男	—	持続する咳、呼吸苦、白血球数增多、肺炎、発熱
			40歳代	女	—	持続する咳
			40歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			40歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
		延岡	0~4歳	男	—	持続する咳、白血球数增多

□ 定点把握の対象となる5類感染症

●第52週

・定点医療機関からの報告総数は6,123人(定点当たり113.3)で、前週比157%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は5,234人(90.2)で、前週比178%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(14.0)の約6.4倍であった。延岡(122.1)、日南(115.2)、都城(94.6)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の66%を占めた。

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は306人(5.3)で、前週比136%と増加した。延岡(12.6)、都城(6.1)、日向(5.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は60歳以上が全体の34%を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015~2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

●第1週

・定点医療機関からの報告総数は2,633人(定点当たり52.3)で、前週比46%と減少した(年末年始含む)。なお、前週に比べ増加した疾患はなく、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

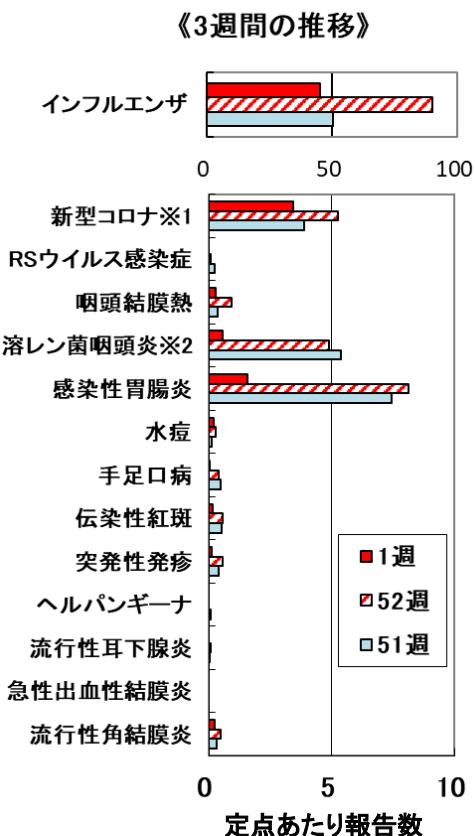
【インフルエンザ】

報告数は2,354人(45.3)で、前週比50%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(23.7)の約1.9倍であった。高千穂(77.0)、高鍋(53.0)、宮崎市(49.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の57%を占めた。

【新型コロナウイルス感染症】

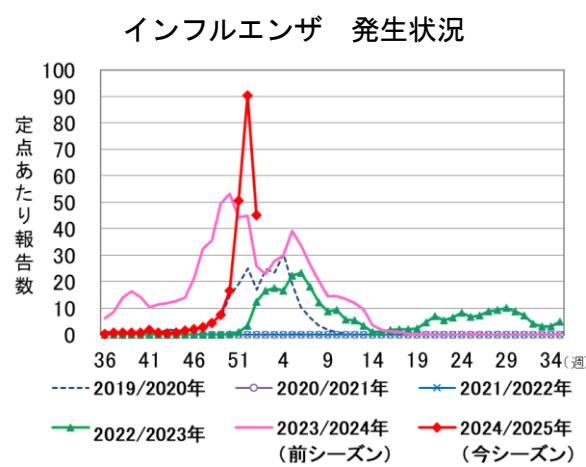
報告数は179人(3.4)で、前週比65%と減少した。高鍋(7.8)、小林(5.5)、高千穂(4.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は60歳以上が全体の28%を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

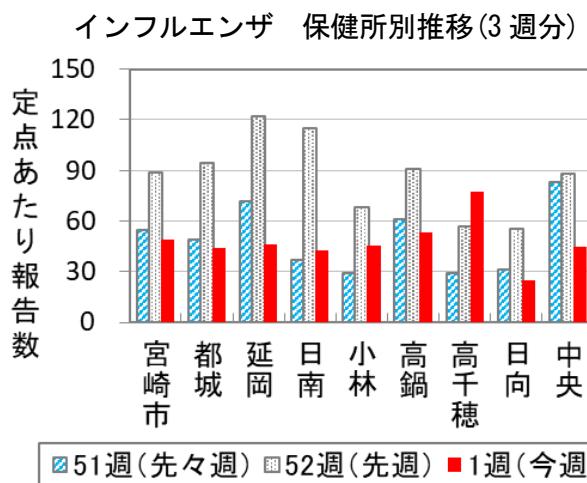
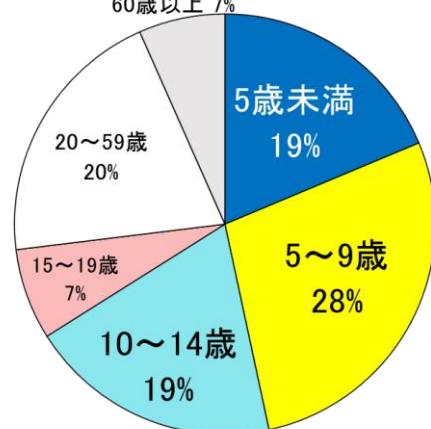


※1 新型コロナウイルス感染症

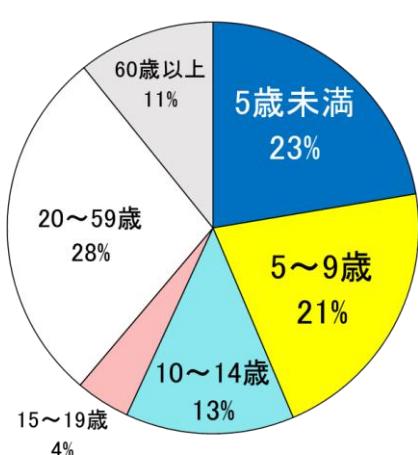
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



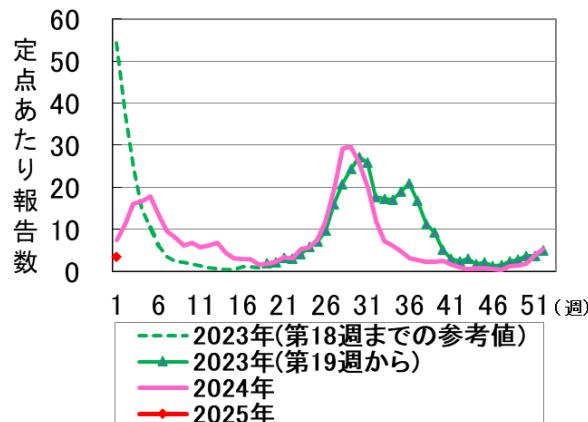
インフルエンザ年齢群別グラフ(第52週)



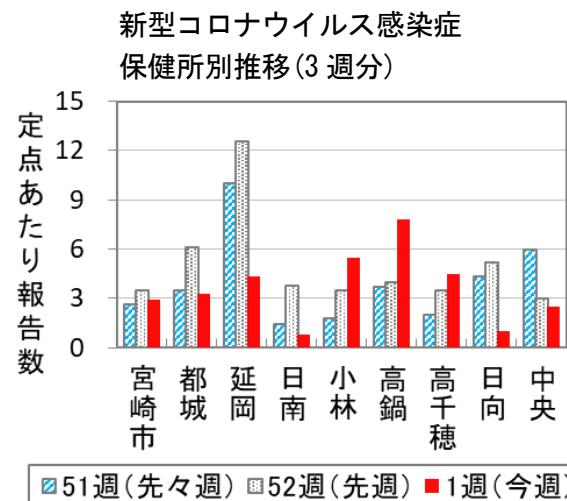
インフルエンザ年齢群別グラフ(第1週)



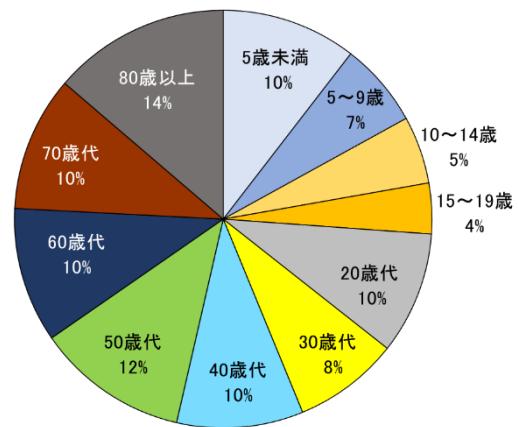
新型コロナウイルス感染症 発生状況



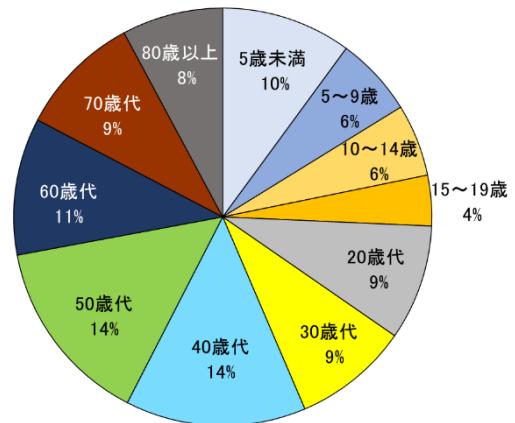
※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週
～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第52週)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第1週)



★基幹定点からの報告★

●第52週

○マイコプラズマ肺炎：報告数は10例(定点当たり1.4)で、前週比約0.7倍と減少した。延岡(3例)、日向(3例)、宮崎市(2例)、高鍋(2例)保健所から報告があった。年齢は10~14歳が5例、0~4歳が3例、5~9歳が2例であった。

●第1週

○細菌性髄膜炎：報告数は1例(定点当たり0.1)で、日南保健所から報告があった。年齢は0~4歳であった。

○マイコプラズマ肺炎：報告数は2例(定点当たり0.3)で、前週比0.2倍と減少した(年末年始含む)。宮崎市(1例)、高鍋(1例)保健所から報告があった。年齢は10~14歳が1例、20歳代が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	52週	1週
宮崎市	インフルエンザ(88.8)	インフルエンザ(49.2)
都城	インフルエンザ(94.6)	インフルエンザ(43.8)
延岡	インフルエンザ(122.1)、 伝染性紅斑(2.8)	インフルエンザ(46.2)、 水痘(1.3)
日南	インフルエンザ(115.2)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(11.3)	インフルエンザ(42.4)
小林	インフルエンザ(68.3)	インフルエンザ(45.5)
高鍋	インフルエンザ(90.5)	インフルエンザ(53.0)
高千穂	インフルエンザ(56.5)	インフルエンザ(77.0)
日向	インフルエンザ(55.2)	インフルエンザ(24.5)
中央	インフルエンザ(88.0)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(12.0)	インフルエンザ(44.5)

流行警報レベル開始基準値

- ・インフルエンザ(30)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・伝染性紅斑(2)

流行注意報レベル基準値

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和7年1月6日までに検出）

★細菌 なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Influenza virus A H1pdm09	50歳代	男	2024.12.09	インフルエンザA型、38.0°C、咳、咽頭痛	鼻咽頭ぬぐい液	2025.01.06

■ 全国 2024 年第 51 週、第 52 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

●第 51 週

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	218 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	36 例	パラチフス	1 例		
4類感染症	E型肝炎	5 例	A型肝炎	2 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	26 例	デング熱	2 例	日本紅斑熱	3 例
	レジオネラ症	39 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	25 例
	急性脳炎	20 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	20 例
	後天性免疫不全症候群	10 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	13 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	69 例	水痘(入院例)	8 例
	梅毒	176 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	144 例	麻しん	1 例

●第 52 週

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	274 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	30 例		
4類感染症	E型肝炎	17 例	つつが虫病	23 例	デング熱	3 例
	レジオネラ症	39 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	25 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	28 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22 例	後天性免疫不全症候群	17 例	ジアルジア症	2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	25 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	79 例
	水痘(入院例)	3 例	梅毒	201 例	播種性クリプトコックス症	3 例
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	158 例	風しん	1 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

●第 51 週

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 168% と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 211,049 人 (42.7) で前週比 224% と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (9.6) の約 4.4 倍であった。大分県 (82.6)、鹿児島県 (65.6)、佐賀県 (61.6) からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 27,120 人 (5.5) で前週比 141% と増加した。北海道 (14.3)、岩手県 (12.8)、茨城県 (9.7) からの報告が多く、年齢群別では 60 歳以上が全体の約 3 割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は 729 人 (1.5) で前週比 84% と減少した。青森県 (4.0)、愛知県 (2.7)、広島県 (2.7) からの報告が多く、本県の定点当たりの報告数は 2.1 であった。全国の年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

●第 52 週

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 136% と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症で、減少した主な疾患は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 317,812 人 (64.4) で前週比 151% と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (11.4) の約 5.7 倍であった。大分県 (104.8)、鹿児島県 (96.4)、佐賀県 (94.4) からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 34,610 人 (7.0) で前週比 128% と増加した。北海道 (16.8)、岩手県 (14.8)、茨城県 (11.8) からの報告が多く、年齢群別では 60 歳以上が全体の約 3 割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は 647 人 (1.4) で前週比 89% と減少した。青森県 (4.5)、富山県 (3.4)、広島県 (2.5) からの報告が多く、本県の定点当たりの報告数は 1.4 であった。全国の年齢群別では 15 歳未満が全体の約 9 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間 (2015-2019) の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2024年 第52週(12月23日～12月29日)

疾病名	第51週	第52週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2937	5234	1421	946	855	576	273	543	113	331
	定点当り	50.64	90.24	88.81	94.60	122.14	115.20	68.25	90.50	56.50	55.17
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	225	306	56	61	88	19	14	24	7	31
	定点当り	3.88	5.28	3.50	6.10	12.57	3.80	3.50	4.00	3.50	5.17
RSウイルス 感染症	報告数	8	2	1	1						
	定点当り	0.22	0.06	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	13	33	25		2	1		3		2
	定点当り	0.36	0.92	2.50	0.00	0.50	0.33	0.00	0.75	0.00	0.50
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	194	176	74	7	21	34	2	17	9	12
	定点当り	5.39	4.89	7.40	1.17	5.25	11.33	0.67	4.25	0.00	2.25
感染性胃腸炎	報告数	268	292	112	36	8	27	39	41	1	14
	定点当り	7.44	8.11	11.20	6.00	2.00	9.00	13.00	10.25	1.00	3.50
水 痘	報告数	4	10	3		3		2	2		
	定点当り	0.11	0.28	0.30	0.00	0.75	0.00	0.67	0.50	0.00	0.00
手足口病	報告数	18	14	5	1	1	1		6		
	定点当り	0.50	0.39	0.50	0.17	0.25	0.33	0.00	1.50	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	19	20	7	1	11			1		
	定点当り	0.53	0.56	0.70	0.17	2.75	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
突発性発しん	報告数	14	20	3	5	7		3	1		1
	定点当り	0.39	0.56	0.30	0.83	1.75	0.00	1.00	0.25	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3									
	定点当り	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	3		1	2					
	定点当り	0.03	0.08	0.00	0.17	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性 結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	2	3	2	1						
	定点当り	0.33	0.50	0.67	0.50	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数	15	10	2		3			2		3
	定点当り	2.14	1.43	2.00	0.00	3.00	0.00	0.00	2.00		3.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～52週 保健所受理分)

2類感染症	結 核	106例									
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	45例									
4類感染症	E型肝炎	4例(1)	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	8例					
	つつが虫病	36例(2)	日本紅斑熱	16例	レジオネラ症	17例					
	レプトスピラ症	1例									
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例					
	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22例(1)					
	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	侵襲性肺炎球菌感染症	16例					
	水痘(入院例)	5例	梅 毒	162例(1)	播種性クリプトコックス症	6例					
	破傷風	2例	百日咳	57例(3)							

()内は今週届出分、再掲

宮崎県 感染症情報

(63定点医療機関)

2025年 第01週(12月30日～01月05日)

疾病名	第52週	第01週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	5234	2354	590	438	277	212	182	265	154	147
	定点当り	90.24	45.27	49.17	43.80	46.17	42.40	45.50	53.00	77.00	24.50
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	306	179	35	33	26	4	22	39	9	6
	定点当り	5.28	3.44	2.92	3.30	4.33	0.80	5.50	7.80	4.50	1.00
RSウイルス 感染症	報告数	2									
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	33	9	5	1	2					1
	定点当り	0.92	0.27	0.63	0.17	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	176	19	4	1	1	8	1	3		1
	定点当り	4.89	0.58	0.50	0.17	0.33	2.67	0.33	0.75	0.00	0.25
感染性胃腸炎	報告数	292	52	14	15	1	3	9	3		2
	定点当り	8.11	1.58	1.75	2.50	0.33	1.00	3.00	0.75	0.00	0.50
水 痘	報告数	10	6		1	4	1				
	定点当り	0.28	0.18	0.00	0.17	1.33	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	14	1								1
	定点当り	0.39	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	20	5	3		2					
	定点当り	0.56	0.15	0.38	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	20	4	3		1					
	定点当り	0.56	0.12	0.38	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3									
	定点当り	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性 結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	3	1			1					
	定点当り	0.50	0.25	0.00	0.00	1.00					
細菌性髄膜炎	報告数		1			1					
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数	10	2	1							1
	定点当り	1.43	0.29	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:52、小児科定点:33(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:4、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週 保健所受理分)

4類感染症	つつが虫病	1例(1)
5類感染症	百日咳	2例(2)

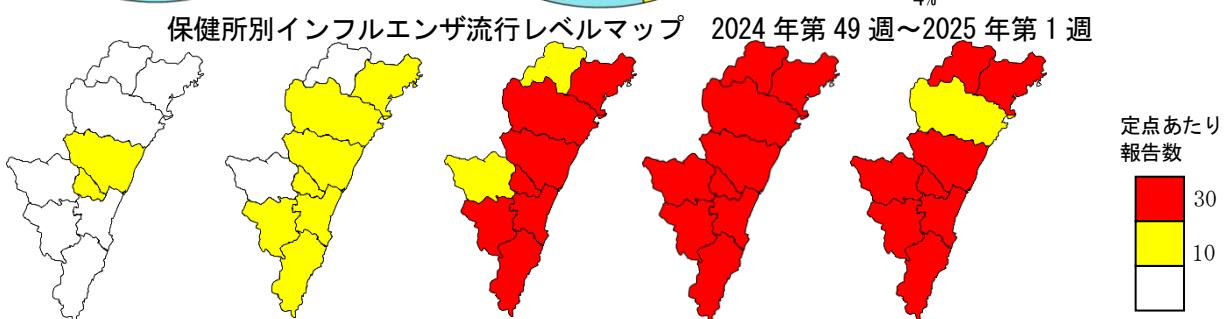
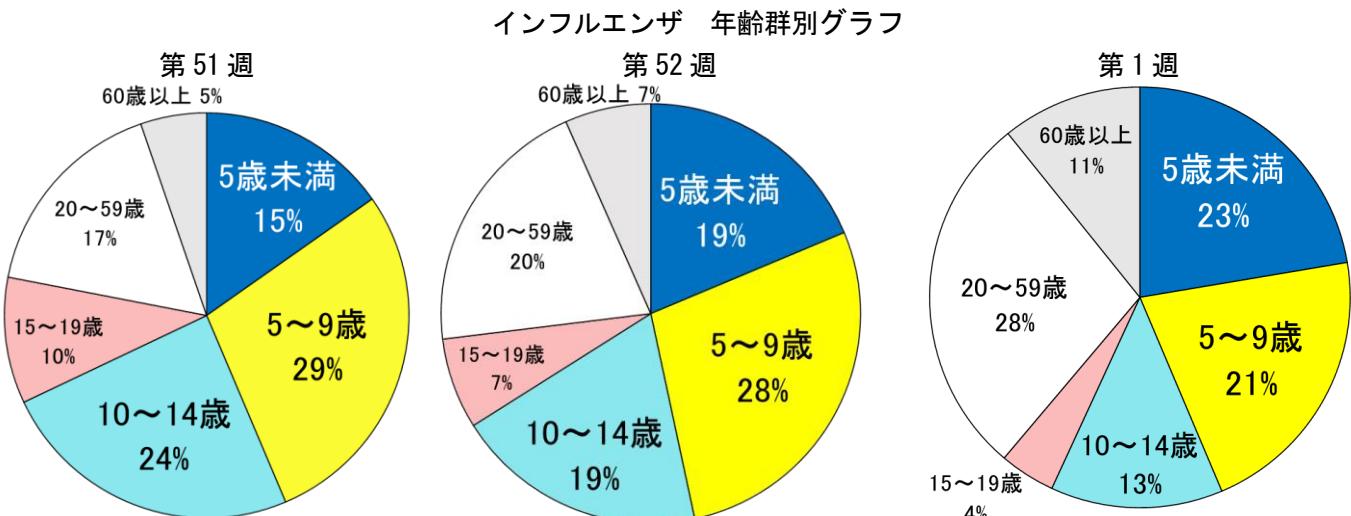
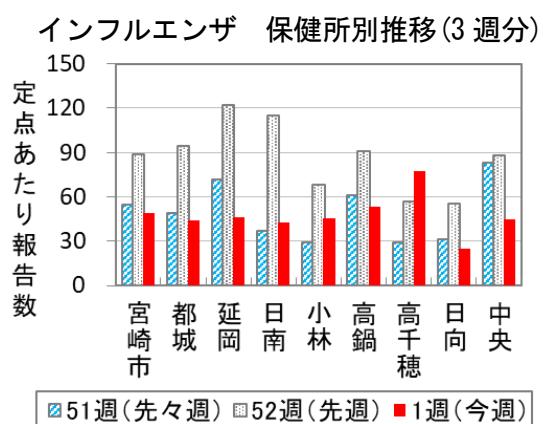
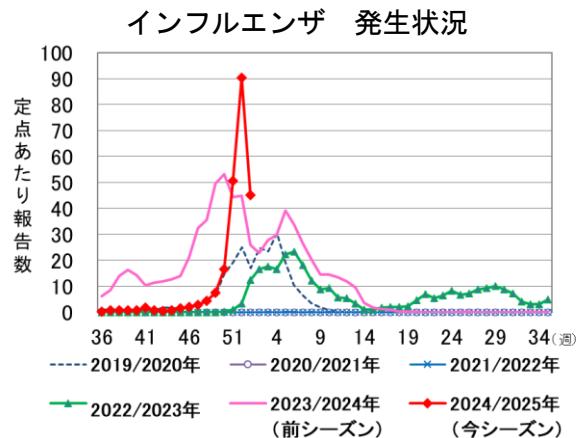
()内は今週届出分、再掲

■ インフルエンザ情報《県内第52・1週、全国第51・52週（再掲）》

□ 県内第52週、1週インフルエンザ発生動向

第52週(2024年12月23日～12月29日)は5,234人(90.2)の報告があった。前週比178%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(14.0)の約6.4倍であった。第1週(2024年12月30日～2025年1月5日)は2,354人(45.3)の報告があった。前週比50%と減少した(年末年始含む)。例年同時期の定点当たり平均値*(23.7)の約1.9倍であった。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015～2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



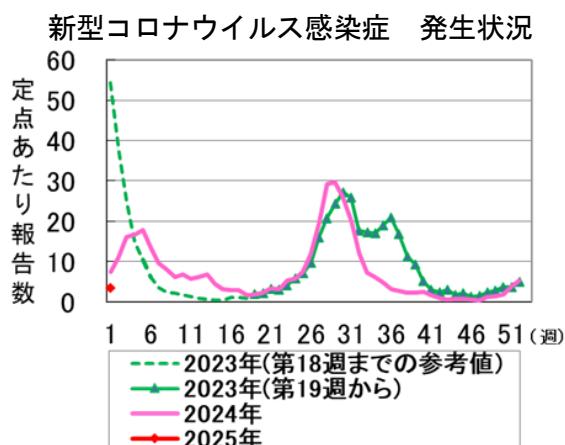
□ 全国第51週、52週インフルエンザ発生動向

第51週(2024年12月16日～12月22日)は211,049人(42.7)の報告があった。前週比224%と増加した。第52週(2024年12月23日～12月29日)は317,812人(64.4)の報告があった。前週比151%と増加した。大分県(104.8)、鹿児島県(96.4)、佐賀県(94.4)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の16%、5～9歳が24%、10～14歳が17%、15～19歳が6%、20～59歳が28%、60歳以上が9%であった。

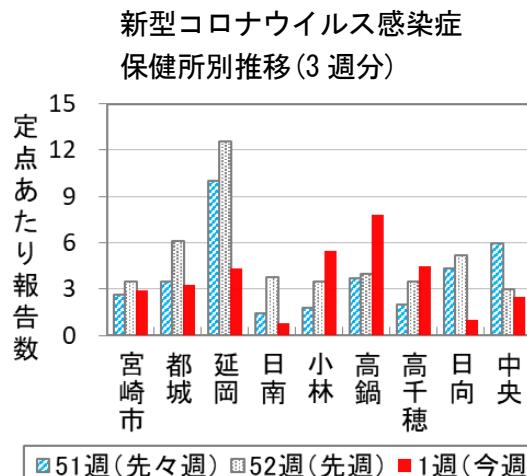
新型コロナウイルス感染症情報《県内第52・1週、全国第51・52週(再掲)》

□ 県内第52週、1週 新型コロナウイルス感染症発生動向

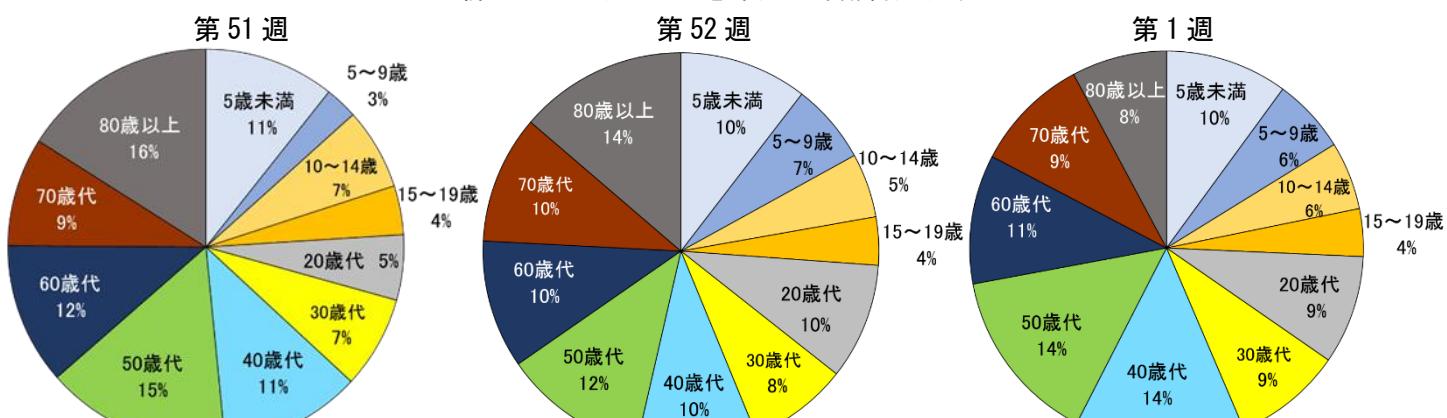
第52週(2024年12月23日～12月29日)は306人(5.3)の報告があり、前週比136%と増加した。第1週(2024年12月30日～2025年1月5日)は179人(3.4)の報告があり、前週比65%と減少した(年末年始含む)。高鍋(7.8)、小林(5.5)、高千穂(4.5)保健所管内からの報告が多かった。



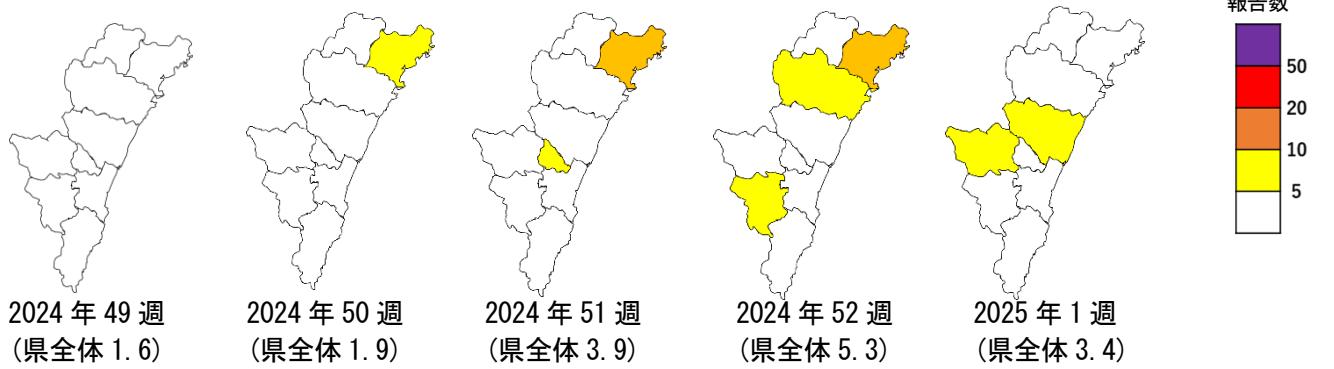
※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータ
は、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値



年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第49週～2025年第1週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第51週、52週 新型コロナウイルス感染症発生動向

第51週(2024年12月16日～12月22日)は27,120人(5.5)の報告があり、前週比141%と増加した。第52週(2024年12月23日～12月29日)は34,610人(7.0)の報告があり、前週比128%と増加した。北海道(16.8)、岩手県(14.8)、茨城県(11.8)からの報告が多く、年齢群別では60歳以上が全体の約3割を占めた。